

蕨 広報WARABI 8

2016/平成28年
わらび・785

- 平成28年8月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.11km²
- 7月1日現在人口：73,621人 前月比 +34人
男 37,458人 女 36,163人
世帯数：37,349
人口密度：14,407人/km²



笑顔で近づいて狙いうち!! 水遊びで暑さを吹き飛ばせ

真夏日となった7月11日、西小学校区放課後子ども教室で水遊びが行われました。水風船や水鉄砲を手にした1年生から4年生までの児童122人は、やんちゃな笑みを浮かべて、友達やスタッフの下へ。校庭には暑さを吹き飛ばすくらい大きな歓声が響いていました。

～今月の特集～

- いま、伝えたい
あの戦争の記憶


WARABI

いま、伝えたい あの戦争の記憶

終戦から71回目の夏を迎えました。実際に戦争を知らない世代の人が大半を占め、多くの苦難を伴った先の戦争の記憶は薄れつつあります。今月は市民の皆さんの戦争体験を紹介しながら、あらためて平和の尊さについて考えてみたいと思います。



昭和63年に平和の象徴として建立された平和之母子像(市民公園)



ながた いুকこ さん
永田 郁子 さん
中央7丁目・81歳

東京大空襲で孤児に

戦争が日増しに激しくなった昭和19年8月、9歳だった私は東京都深川区(現在の江東区)の実家から新潟県に学童疎開することになった。親元を離れた生活は寂しく、家族からの手紙が唯一の楽しみでした。しかし、あの戦争は私を更に絶望の淵へと突き落としました。疎開してから7か月ほどたった頃、東京に大空襲が…。

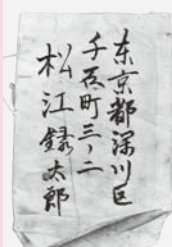
被害状況の調査に行った先生からの報告は「両親と3人の姉が亡くなった」という無情なものでした。東京大空襲が起きた昭和20年3月10日、警防団員だった父は、母と3人の姉を避難させ、兄とともに消火に当たりました。後日、自宅裏の貯水場から父の遺体が見つかったそうです。母と姉たちはどこで亡くなったのか、はつきり分かりません。空襲のときは家の前の学校に避難することになっていたのですが、そこに避難した人たちは、あまりの火の強さに全て灰になってしまったのです。こうして残されたのは兄と私だけ…。悲しみのあまり涙も出ませんでした。

居場所はなく転々と

孤児となった後の生活は悲惨なものでした。私は親戚に引き取られはしたものの、自分たちの生活も苦しかったからでしょう、いじめや虐待が始まりました。食事も満足に与えられず、お風呂の



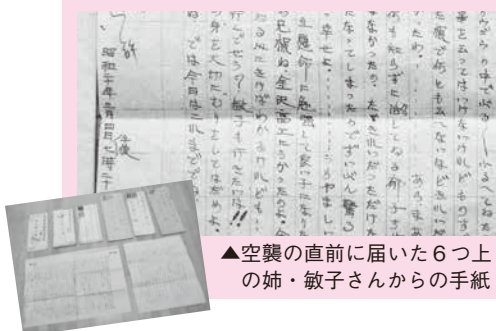
◀疎開前に近所で
▼父の形見の名札



水くみやまき割りなどの重労働を押しつけられ、母や姉の形見の服などを処分されてしまったのです。私は厄介者扱いに堪え切れず、逃げるように親戚の家を飛び出しました。しかし、他の親戚にも冷たくあしらわれ、知人の家々を転々とする毎日。ついに行く場所がなくなり、神社で野宿することになりました。一人であるとしても心細く、親のいない悲しさがどっとこみあげてきて、疎開中の家族からの手紙だけが心の支えでした。その後、偶然私を探していた兄と再会し、なんとか野宿生活から抜け出せたのです。

語り継ぐことが使命

戦争孤児は、全国で12万3000人余りといわれています。誰もがつらく、厳しい経験をしていて、収容施設に入れられたり、人身売買の対象となったりした子どももいました。戦争によってたいていせつな親を奪われた孤児たちがどんな環境で、どんな思いで生きてきたのか。それを次の世代に語り継ぐことが私の役目だと思っています。そしてこのことが、戦争を知らない子どもたちがいつまでも、戦争を知らないままでいられる平和な社会につながると思っています。



▲空襲の直前に届いた6つ上の姉・敏子さんからの手紙

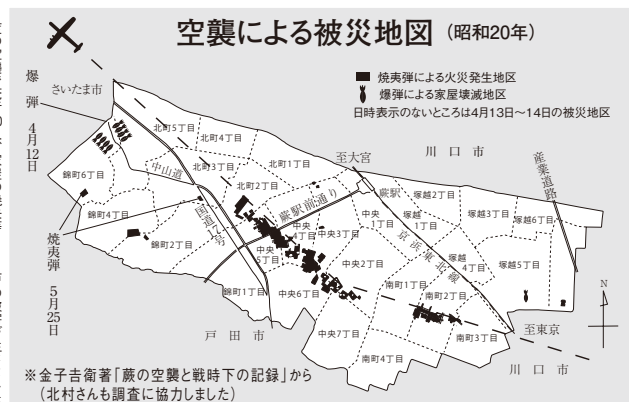


きたむら きへい 北村 喜平 さん
中央5丁目・83歳

まちを襲った爆撃機

昭和20年3月10日、東京の空が真っ赤に染まっていた。不吉に感じたのは、はつきり覚えていいます。我が家でも空襲に備え、庭に縦2メートル、横3メートルほどの防空壕を掘りました。ただ、湿地帯だった蔵では少し穴を掘るとすぐに

水が出てしまい、深さは50センチほどしかない不安なものでした。同年4月12日、空襲により地震のような強い揺れを感じた直後、風圧で窓ガラスが割れ、錦町方面を見ると煙が空高く舞い上がっていました。翌日登校するとある班の同級生たちはほぼ全員亡くなったとのこと。その被害を聞いて恐怖のあまり足がすくんでしまいました。そしてその夜、自宅付近も空襲に見舞われました。B29爆撃機から投下された焼夷弾から「パン・パン」という音とともに



花火のように火花が飛び散り、見るまに辺りの家屋や塀などが炎に包まれました。私は防空壕の中で家が焼かれられないように必死に祈るばかり。幸い家は無事でしたが、蔵第一国民学校（現在の北小学校）から御殿町、土橋、三和町にかけて带状に焼かれ、

焼け跡からは遺体や家屋の燃える臭いが混ざり、吐き気を催すほどの異様な臭気が漂っていました。友人が亡くなったという話を聞く度に悲しくて涙が止まりませんでした。なにもかも奪う戦争

なにもかも奪う戦争

戦時中はつらい記憶ばかり。昭和18年には、同居していた当時21歳の叔父に赤紙が届きました。私はまだ10歳。頼もしい叔父と二度と会えなくなると思ってもせずに、無邪気に手を振って送り出したものです。叔父は翌年の11月にフィリピンの



▲蔵第一国民学校校舎前での集合写真。前から2列目、左から3人目が北村さん（昭和16年）



◀出征に際し、まちをあげた盛大な見送りを受ける叔父・伊三郎さん

平和都市宣言

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。

その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。

しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。

このような国際情勢の中で、戦争は人間が起すものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。

私たち蔵市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。

蔵市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

昭和60年9月9日 蔵市

悲惨な体験を後世に

昭和49年から市民会館で働き始めたのが縁で、元蔵市長の金子吉衛さんから、空襲による罹災者

の調査の依頼がありました。戦争がどのような悲惨なものであったかを明らかにし、再び繰り返さないために、再び繰り返さないために、私たちの戦争体験を風化させてはならない、その思いから協力させてもらうことに。つらい記憶を思い出したくない人や転居した人も多く調査は難航しましたが、3年の歳月を費やしつつに完了にこぎ着けました。

今年で終戦から71年を迎えます。誰もが平和を求めることで二度とあのときのような悲劇が起こらないよう願っています。

平和宣言都市
蕨市

公民館などの催し

コカリナ演奏 先着100人 詳細・申し込み 同館(☎432・4053) 福祉・児童センター

戦争をかたる／12日(金) 午後1時半 語り手 服部道子さん 小学5生以上 水筒、上履を持参 問い合わせ 同センター(☎431・7300) 図書館

展示「戦争の記録―近代から現代まで―」／31日まで 問い合わせ 同館(☎444・4110)

平和祈念の黙祷

広島市で6日、長崎市で9日に原爆死没者の追悼と平和への祈りをこめた式典が開かれます。また、15日の終戦記念日には、政府主催の全国戦没者追悼式が開かれます。

蔵市も平和宣言都市として、これらの式典に合わせて、6日(土)は午前8時15分から、9日(火)は午前11時2分から、15日(月)は正午から敬虔な黙祷がささげられるよう、防災行政無線で呼びかけを行います。1分間の黙

歷史民俗資料館
第27回平和祈念展

第27回日本郵政の日
銃後の女性たち
 平成25年度
 文芸春秋賞（文芸）
 入賞作品選



文芸春秋



大正 大衆



大正 大衆



大正 大衆

文芸春秋

25日まで 午前9時～午後4時半 休館日＝月曜日、11日・9月20日・22日 内容＝当時の女性の日常生活を紹介する資料、約100点を展示 詳細＝同館（☎432・2477）

当時の女性の活動や暮らしを紹介

This image displays a variety of Japanese wartime propaganda materials. On the left is a cloth bag with a sun flag and the text '折衷愛友 慰問袋' (Shochu Aiyu Wimon-bukuro). To its right are several small pamphlets and posters, including one with a woman's face and the text '現代生活' (Modern Life). A long banner on the right reads '大日本国防婦人会' (Great Japan Defense Women's Association). Other items include a small poster with a woman's face and the text '現代生活' (Modern Life), a small poster with a woman's face and the text '現代生活' (Modern Life), and a small poster with a woman's face and the text '現代生活' (Modern Life).

蕨

いま

むかし

— 328 —

語る人



たかはし かつゆき
高橋 勝之さん

塚越 5丁目・71歳

塚越稲荷社の
相撲興業

江戸大相撲の影響を受けて、蕨は古くから草相撲が盛んな土地柄でした。明治の中頃には素人相撲集団「蕨八幡講」を結成し、相撲部屋へ入門を果たす力士も輩出されました。

昔の写真は大正6年8月に塚越稲荷社（塚越3丁目）の境内で催された興業の様子です。わらを敷いて土俵が作られ、四本柱や引幕も設置されています。写真には私の祖父（左から3人目）も写っており、立派な化粧まわしには、しこ名の「東川」の一字が刺繍されています。また、当時は若者たちが巨石を持ち上げて腕っぷしを競ったそうで、今でも境内に2基の力石が現



情報ダイヤル

掲載は無料です
図秘書広報課 (☎433・7703)

〔無料で差し上げます〕

▶**台車** 普通サイズ 新品同様 取りに来てくれる人<竹内・☎090・2914・7125>

〔仲間になりませんか〕

▶**男性料理クラブ** 第2土曜日 午前9時半 西公民館 月1,500円 年齢・経験不問<小池・☎443・0955>

▶**デッサンクラブイースト** 第1・3木曜日 午前9時半 東公民館 3か月で5,000円 成人<星野・☎442・8029>

▶**和楽備ラジオ体操絆の会** 月・水・金曜日は午前6時15分 火・木曜日(男性のみ)=午前7時 城址公園<平田・☎090・3131・9399>

▶**楊名時(太極拳)** 土曜日 午後2時半 蔵駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

▶**蔵北町サッカースポーツ少年団** 土・日曜日・祝日 北小学校 月1,500~2,000円(未就学児は年間1,000円) 年中~小学生<小泉・☎090・4948・5936>

▶**蔵塚越サッカースポーツ少年団** 土・日曜日・祝日 東小学校か塚越小学校 月2,500円 年中~小学生 体験入団も大歓迎<元山・☎090・8461・5315>

▶**日本語ボランティアわらび中央** 火曜日は午後1時半 水曜日は午後2時 中央公民館 月200円<篠・☎090・8945・7807>

〔参加しませんか〕

▶**ダンスパーティー** 6日・10日・24日 午後1時 くるる 499円<犬塚・☎441・7373>

▶**ティンクル公開レッスン(キッズダンス)** 25日 午後4時半 東公民館 年少~小学生<飯塚・☎090・2762・5320>

▶**Yキッズダンス無料体験** 2日・9日・23日・30日 午後5時15分=4歳~小学2年生 午後6時15分=小学3年~中学生 くるる<谷内・☎090・2492・3967>

▶**「佐原・昔街歩き」参加者説明会** 日時等は電話確認<日帰り旅倶楽部・岩本・☎090・3431・4295>

▶**蔵断酒会(酒害相談)** 2日=中央公民館 12日=南公民館 18日=旭町公民館 午後7時 語り合いの場<円浄・☎090・2522・8688>

まちの話題

7月2日と3日、くるるを主会場に「わらてつまつり」が開かれました。協働提案事業として行われたこの催しは、ミニ新幹線の乗車会や鉄道模型の走行会、工作教室のほか、模擬店などで大盛況。訪れた8000人は、鉄道の魅力を満喫しながら、地域の交流を深めました。

7月6日、地域子育て支援センターこっこぴよで「こっこのおまつり」が開かれました。北町地区の民生・児童委員のご協力の下、会場は盆踊りやヨーヨー屋さんなどで大にぎわい。参加した22組の親子は、夏祭りの雰囲気を楽しみながら、交流の輪を広げていました。

塚越商店会主催の「あさがお&ほおずき市」が7月9日と10日、東口一番街で開催されました。夏の風物詩として地域で親しまれているこの催し。色鮮やかなアサガオやホオズキの販売をはじめ、ステージ発表や屋台村などを楽しむ3万人の人流でにぎわっていました。

青少年の健全育成を目指す、「サマー・パーク・フェスティバル2016第50回青少年まつり」が7月24日、市民会館を主会場に開かれました。青少年団体によるゲームや体験コーナーのほか、各種発表が行われ、訪れた4700人は節目の年に大いに盛り上がりしました。

7月22日、蔵市議会臨時会は議長に三輪かずよし氏は、副議長に小林利規氏を選出。三輪氏は平成11年初当選。通算3期目。新生会。市議会副議長などを歴任。南町1丁目。69歳。小林氏は平成23年初当選。2期目。新生会。教育まちづくり常任委員会委員長などを歴任。中央2丁目。52歳。

わらてつまつりが開催



触れ合い深まるお祭り



恒例のあさがお&ほおずき市 華やかに



節目のイベント盛大に



新議長に三輪氏を選出



こばしりき 小林利規副議長 みわ 三輪かずよし議長



存し、それぞれに33貫目、32貫目(1貫は3・75^{キログラム})と文字が刻まれています。今の写真は現在の様子。本殿に続く石段は昔と変わらぬままで、日頃から奉賛会の皆さんによって整備され、多くの参拝者が訪れています。また、敷地内の機神社では、毎年、8月7日に機まつりの式典が開かれています。

今年も機まつりで販売!!

わらびりんごサイダー

7日(日) 午後2時～
限定1,500本

機まつりで販売!!

とき = 8月7日(日) 午後2時 限定1,500本
ところ = 桜橋通り(下図★) 価格 = 200円(300ml)
※販売は一人2本まで 詳細 = 商工生活室(☎433・7750)



昨年に続き、機まつり最終日に、今年市内で収穫したリンゴを使ったわらびりんごサイダーを1,500本販売します。まちの魅力がぎゅっと詰まったサイダーをご賞味ください。

平成27年度・宿場まつり

ミス織姫&宿場小町の皆さんが
サイダーの感想を教えてくださいー



平成27年度宿場小町
さの かのん
佐野 花音さん

甘さ控えめで
女性にもおす
めですね。

はじける炭酸
が癖になりそ
うです!



平成27年度ミス織姫
ひらやま さとみ
平山 知美さん

強い酸味が爽
やかで夏にぴ
ったりです!



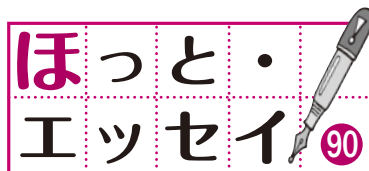
平成27年度宿場小町
うえやま
植山 ころろさん

ほかにも...

今年は機まつりのほかに右表の催しでも販売します

催し	9月	10月	11月
とき・ところ	9月17日(土)・24日(土) 午前9時 JAさいたま蕨支店	10月21日(金)・22日(土) 午前9時半 和楽備神社	11月26日(土) 午前10時 中央公民館
販売本数	200本(各日100本) ※一人1本	200本(各日100本) ※一人1本	100本 ※一人1本

問い合わせ = 商工生活室(☎433・7750)



だれもが健康に暮らせるまちへ
健康づくり・介護予防を推進

市長 頼高英雄

蕨市では、現在、健康づくり・介護予防を積極的に進めています。

市民の皆さんの健康寿命の延伸を目的に、昨年度から開始した「ウォーキングと筋力アップ」のプロジェクトもその一つです。これは、モニターとなった皆さんに「1日8000歩、中強度の活動20分」を実践していただくもので、参加者からは「健康への意識が高まった」「運動習慣が身につ

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。
今月は4日です。9月は1日
です。時間は午後1時～5時
を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課
(☎433・7701)へご連絡を。

いた」などと、好評をいただきました。更に、事業に参加していない人との比較で、国保医療費が1人当たり年間2万8000円の削減効果があることも分かりました。今年度は人数を拡大し、210人の皆さんに運動に取り組んでいただいています。

一方、介護予防については、いきいき百歳体操を7グループ5会場に拡大を図るとともに、今年度から新たに県の3か年のモデル事業として、介護予防や生活支援などを地域の中で進めていくための体制づくりに取り組んでいます。

蕨市では、これからも市民の皆さんが元気でいきいきと暮らせるまちを目指し、健康づくり・介護予防に力を入れていきます。

紹介します！皆さんの市民活動

キラリ!!
みんなの力

～ Bwara ～



いっしょに踊ってくれる仲間を募集しています。
活動については

「幼稚園に通い始め、少しずつお兄さんの自覚が芽生えてきた勇太(右)と、いつもそばにくっついて離れない幸翔(左)。最近、勇太は私のまねをして、お箸を持って幸翔にご飯を食べさせてあげます。褒めてあげると調子に乗

ってどんどん口の中へ。幸翔もうれしそうにほっぺを膨らませ、『おいち、おいち』と、野菜だってぺろっと平らげてくれます。そんな光景がとてもほほえましいですね。これからは兄弟仲よく元気に育ってね」と、母親の楊さん。



ゆうた
勇太ちゃん
(3歳6か月)

ゆきと
幸翔ちゃん
(1歳9か月)

よしおか としき
吉岡 利樹さん
楊さんの

長男・二男
中央5丁目

わが家のアイドル

—532—

メッセージ



わかばやし
若林 ころこ 講師

B w a r a は35歳以下
の若者が集まり、社交ダンスに取り組みクラブで、地域にその魅力を広めようと平成24年に有志で設立しました。

現在は、くるる(毎週金曜日 午後7時)に20人ほどが集まりステップを踏んでいます。社交ダンスというと、特に若い人は敷き居が高いと思うかもしれませんが、



華麗なポーズで笑顔を見せる皆さん

未経験者や初心者の人でも親しみやすいように、練習は簡単なベーシックステップに絞ったり、各自で確認できるようにレッスン用の動画をウェブ上に公開したりと工夫しています。こうしたことが評判で、地域の皆さんはもちろん、市外からも多くの人が参加してくるんですよ。また、会員の年代が近いことから、ダンスだけではなく交流会や旅行を行うなど、触れ合いも広がっています。

今月7日には活動成果を披露しようと、くるるで「サマーパーティー」を開きます。優雅なダンスや夏にぴったりのフラダンスの発表など楽しい企画が盛りだくさんです。詳細はクラブのホームページでご確認ください。



メリハリをつけて優しく指導をする西崎さん

輝いています

ひと

日本舞踊の講師

にしざき まりな 西崎 万梨奈 さん

誰もが踊りに親しめるように

園

児や小学生、保護者を中心に南公民館で活動をする「日本舞踊踊りの会」。肩肘を張らずに、親子で踊りの基礎や礼儀作法、着物の着方などを学べる場として親しまれています。そんな同会で「楽しみながら踊ること」を信条に指導をしているのが、この道40年の西崎万梨奈さん（43歳・南町2丁目）です。

母に手を引かれ、3歳から市内の師匠の下へ。当初は友達と会えるのが楽しみで続いていた稽古も、11歳の頃、3つ上の先輩が舞台に立つ姿に憧れを抱き、熱が入るようになり、そのかいあって16歳で西崎流の名取りと師範になり、以来学業や仕事と両

立させながら、ひたむきに芸を磨いてきた西崎さん。「体の動かし方一つで『美』を表現する日本舞踊は答えがなく、生涯追求できるのが魅力ですね」と、その醍醐味を語ります。

現在は3児の母でもある西崎さんは「気軽に和の文化と心に触れる機会を」と、3年前に教室をスタート。今では3歳から70歳代までの幅広い世代に指導をしています。更に子どもたちと市内のお祭りや町会の盆踊りなどにも出演し、催しに華を添えているほか、昨年からは定期的に南町の特別養護老人ホームの慰問へ。同施設の入所者に幼い頃、稽古でお世話になったため、恩返しとの思いから始めたのがきっかけです。「愛らしい様子が高齢者の皆さんは目を細め、褒められた子もうれしそうなんです」と、ほほえみます。

今月6日の機まつりでも手おどりに参加し、蔵の夏を盛り上げたいと意気込む西崎さん。今後の目標は、「踊りの楽しさを伝えながら、更に交流の輪を広げたいですね」と、にっこり。踊りをもっと身近なものに。その思いを胸にこれからも次世代と伝統文化をつなぐ懸け橋となり、地域に笑顔の花を咲かせていきます。

今月の河鍋晩斎記念美術館

天才絵師の作品 蔵にあり

— No. 3 —



晩斎筆「猪に乘る蛙」

数え3歳の晩斎が母に連れられて、上州館林の親戚を訪れた際、初めて写生したのが蛙でした。それ以来、晩斎は数多くの作品に蛙を描いています。

左の作品は、猪にまたがる蛙を描いた錦絵です。コウモリが先導し、バツとカマキリが猪を囲んでともに駆けて行きます。

『曾我物語』に登場する新田四郎が大猪を退治した「富士の巻狩」を基にした戯画とされています。現在の企画展に展示中の「蛇を捕まえる蛙」などと同じ、うちわのための錦絵です。

Kyosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市で生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の晩翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 晩斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)

河鍋晩斎記念美術館

「猫・犬・猿・虎 一晩斎の描いた動物たち」展
同時開催「第30回かえる展」
期間＝8月24日(水)まで



展覧会の詳しい
内容は美術館の
ホームページを
ご参照ください



開館＝午前10時～午後4時
休館＝木曜日 毎月26日～末日
ところ＝南町4-36-4
入館料＝一般540円 中学生～大学生
430円 小学生以下210円
(20人以上の団体は要予約)
詳細＝同館(☎441・9780)